

## 令和5年度第1回循環器病対策推進に関する小委員会 (脳血管疾患関連)

- 日 時 令和5年6月6日(火) 午後4時～午後5時
- 開催方法 オンライン開催
- 出席者 16人  
黒崎委員長  
坂本・花島・瀧川・阪田・田淵・日笠・紙谷・竹内・伊坂各委員  
県健康政策課：山崎課長、井上係長  
健康対策協議会：渡辺会長、岡本事務局長、岩垣次長、廣瀬主事

### 挨拶 (要旨)

〈渡辺会長〉

本日ご出席いただき、大変ありがとうございます。

コロナの感染が、5月8日から5類に移行して一か月ほど経過し、全数把握から1週間ごとの定点調査に移行となり、感染者数は全国において徐々に増加がみられている。鳥取県においては5月の第4週は若干減少し横ばいの状態である。再拡大のリスクは続いていると思う。院内感染の対策等も、医療機関でしっかり取り組みがなされており、ワクチン接種も第6回目以降、年代に応じて現在行われているところである。

本日は、循環器病対策推進にあたっての脳血管対策について、話し合っていたくことになっている。今年度の脳卒中・心臓病等総合支援センターのモデル事業に、鳥取大学医学部附属病院が採択されることになった。これは昨年度から開始したモデル事業で、初年度である昨年度は残念ながら採択されなかったが、今年度は採択されることが決定した。

この小委員会で行っていくさまざまな事業が実現できるものと願っている。限られた時間である

が、協議事項について、幅広い議論を進めていただければと思う。

### 協議事項

#### 1. 令和5年度脳卒中・心臓病総合支援センター事業について報告：井上係長より説明

令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業公募の審査の結果、鳥取大学医学部附属病院が採択されることになった。全国で15府県の医療機関が採択された。

1 医療機関あたり1,800万円で、補助率10/10である。

#### 2. 令和5年度脳卒中・心臓病総合支援センター事業の今後の事業の検討について：坂本委員より説明

脳卒中・心臓病等総合支援センターは鳥取県における脳卒中相談窓口のとりまとめ役として、

1. 地域医療機関・市民への啓発と情報提供、
2. 脳卒中相談窓口を中心とした患者・家族への相談支援と情報提供、
3. Joinとおしどりネットを軸にした急性期と慢性期の医療連携を行うこととしている。モデル事業としての基本的な考えとしては、県全体や地域での連携を図る。また、日

本脳卒中医療ケア従事者連合の支部の立ち上げや県、市町村等の行政との連携、各PSCおよび回復期病院に脳卒中相談窓口を設置していただくよう働きかけていきたいと考えている。

### 3. 令和5年度の一般県民向けの講演会および多職種連携を目的とした従事者研修会

現時点では、以下のとおり決定した。

#### ○一般県民向け講演会

開催日時：10月29日（日）世界脳卒中デーに合わせる

開催方法：ハイブリッド開催（会場：鳥取県医師会館1階研修センター）

講演内容：「予防」と「外科治療」

講師：予 防：鳥取県立中央病院脳神経内科  
中村知哉 先生  
外科治療：鳥取県立中央病院脳神経外科  
吉岡裕樹 部長

井上係長からは、患者代表の伊坂委員に、体験談を話していただけないかという話があった。伊坂委員からは、講師を引き受けるかどうかは検討するとのことであった。

#### ○多職種連携従事者研修会

開催日時：11月19日（日）、26日（日）のいずれか。←19日で確定

開催方法：ハイブリッド開催（会場：鳥取県立中央病院）←完全オンラインに変更

講演内容：「多職種連携」と「脳卒中相談窓口」

講師：多職種連携：鳥取県立中央病院脳神経内科 下田 学 部長  
脳卒中相談窓口：  
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経外科学分野准教授

坂本 誠 先生

※脳卒中・心臓病総合支援センター事業について紹介を兼ねて話をさせていただく。

また、両会とも心疾患分野と合同開催とすることとなった。（県民向け講演会は、日本循環器学会との共催）

### 4. 鳥取県循環器病対策推進計画の令和5年度改定に向けて

〈報告事項〉

第2期循環器病対策推進基本計画の全体目標は、第1期と変わらず2040年までに3年以上の健康寿命の延伸および循環器病の年齢調整死亡率の減少である。

計画期間については令和5年から10年の6年間の計画期間である。指標の整理の考え方は、予防の指標については、循環疾患の一次予防と関連のある「健康日本21」で用いられている指標との整合を図りつつ、整理する。また、脳卒中と心血管疾患で統一することとする。計画の見直しの大きなポイントは、感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策を計画の中で追加されている。また、諸計画等の連携も追加となっており、「他の疾患等にかかる対策との連携」の項目を新設し、「がん対策推進基本計画」、「成育医療等の基本方針」を新規追加する。連携する都道府県計画として、医療計画等に加え「域福祉支援計画」、「障害福祉計画」が明記されている。

また、医療法に基づく医療計画と政策的に関連の深い計画について、一体的策定が出来る旨の国通知により、本県循環器病対策計画も保健医療計画との一体的策定の方向である。

今後は、健康対策協議会（夏部会）、10月頃の第2回小委員会（または書面持ち回り）により、計画素案を策定し、年明けにパブリックコメント、来年度施行を目指す。

計画の中身については、引き続き小委員会の先生方のご意見を伺いながら進めていく。

〈協議事項〉

国計画の脳卒中に係る指標例のうち、現在の県計画にない指標の対応について、委員から意見を

いただいた。

・資料7について、以下のとおり協議を行った。

(1) 各消防局に確認したところ、観察指標としてはKPSSやCPSSを利用しているが、6項目についても隊員には周知しており、容体に応じて活用しているとの回答であった。県指標ではKPSS、CPSSに読み替えてよいか。

(坂本委員) 問題ない。

(11) 脳卒中患者の重篤化を予防するためのケアに従事している看護師数は、脳卒中リハビリテーション認定看護師と脳卒中療養相談士の合計数で読み替えてよいか。

委員会での意見

・脳卒中療養相談士は、医師、MSW等看護師以外にも含み幅広である。

・脳卒中リハビリテーション認定看護師は県内でも数が少ないため、指標とするかも検討が必要。(県内では2名のみ)

・脳卒中療養相談士は、脳卒中相談窓口にいる看護師、SCU・SUに従事している看護師を数えてもいいかもしれない。

(井上係長) 国に定義をあらためて確認する。

後日確認結果：国指標では、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師あるいは脳卒中認定看護師の実数

・現在、各病院に令和3年度策定「鳥取県循環器病対策推進計画」の指標の最新値を把握するため、各指標の令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日)の状況について照会中である。